

令和3年度第1回堺市東区政策会議テーマ別会議「ひがし歴活」 議事要旨

開催日時 令和3年10月13日（水） 午後3時30分～午後4時45分
開催場所 東区役所 2階201・202会議室
出席構成員 池崎守、川上浩、北井道子、坂井茂子、高落俊次、森田法子、米田眞利
事務局職員 東区役所企画総務課 友兼主査、高嶋、酒井
議題 東区の歴史・文化の発掘・発信～次世代への継承
配付資料 資料1 令和3年度第1回堺市東区政策会議テーマ別会議「ひがし歴活」座席表
資料2 堺市東区政策会議テーマ別会議（ひがし歴活・ひがし文活）検討事項

【会議内容概要】

- 1 資料1に基づき、出席者紹介
- 2 資料2の記載内容を説明
 - ・会議運営について、ゲストスピーカーや追加メンバーの検討
 - ・検討テーマの一部案だし
 - ・ターゲットや成果物について、また小学生を対象にした事業展開 など
- 3 意見交換

【各構成員発言要旨】

- 何から取り組んでいけばいいかと思ひ図書館に行ったところ、東区の『町名』の成立ちから入っていけばいいのではと考える。
- （自分のところは）史料的に少ないが、建設当初からの『小学校の歩み』がまとめればよいと思う。
- 神社を語ろうとすると、東区在住の氏子と行政区が異なる（野田校区住民と菅生神社）が、東区の歴史としてはどのように扱えばよいのか悩む。
- 『町名』や『学校の歴史』は大事なことで、子どもたちを巻き込むにはもってこいのテーマではないか。子どもたちと一緒に学ぶことは面白いと思う。
また現在の行政区の状況であっても、東区の歴史を語る上では菅生神社は外せない
ので扱うべきと思う。
- 東区周辺は、古墳時代に始まった須恵器の一大製造拠点であり、これ以外にも科学的検証を経た地域の歴史書が存在している上に、メンバーの川上氏の深い見識を参考に
してはどうか。
- 小学生まで巻き込もうとすると、東区をテーマパーク化し自分たちで回れるような
まちにすることが必要。知らないと回れないので何を『軸』にするのかが重要。その
一つがそれぞれの地区にある『お地藏様』を『わくわく散策マップ』地図に落とし込

む、その時に例えば『桜マップ』も加えると、歴史に興味のない人も回ってみるとその歴史に気づく、そんな本が出来ればよい。

もうひとつは作りしろが大事で、座って図書館で調べてではなく現場を回る、そんなツアーを広報し参加してもらおう。それぞれの場所では各校区連合会長が解説することでまちへの愛着・誇りが更に深まる。そんな体制づくりが重要。

- 東区には、「行基」の足跡（歴史）があり、また『お地藏様』だけでなく『史蹟（跡）碑』なども地図に落とし込むとより充実する。みんなで現場を訪ねることは大事。住んでる人たちが知ることには意義がある。
- 身近な場所でも知らないこと（ところ）があり、発見できていない。そのようなところにも伝承事がある。野田や八下にはそんな場所がたくさんあるのではないかな。
- 専門家や川上氏の話を聞くのは有用と思う。また東区の農業は狭山池の水を利用しているので『水』をテーマに、例えば今は道路になっている暗渠部分を市役所の協力で整理し、仁徳陵の堀までの水みちを確認することで、子どもたちが普段通っているところや地名に興味を持ってもらえるのではないかな。
- 西高野街道は、外せない。国道 310 号や南海高野線の建設の歴史もある。
- 『お地藏様』は元々、重要な交差点に立っており、交差点にないところにあったりするとそれは後から設置されたものか、または重要な道が廃止された証であったりする。それと村の外れと入口に設置されていたので、『お地藏様』の場所を調べると昔の状況が把握できる。
- 例えば、八下を「やした」又は「やしも」と言ったり、日置荘を「ひきしょう」又は「ひきそう」と読んでるのでこれも地域地名の歴史を語ることができる。
- 昔は、「大草村伊勢道」言っていたが今はない、全部「草尾」になった。合併してなくなった。「西口園」や「大美野」もそうだが、それぞれ地名には由来があった。
- 大美野の開発は、計画的土地開発（田園都市）だった。
- これからどういう取り組みをしていくかについては、歴史を掘り起こして新たな歴史を築く、言わばまちづくりの一環ととらえ、地図が作ればそれは一つの成果となるし、地図を基に現場を歩く、現場を知することは非常に意義がある。
- 一例として、歴史に引っ掛けて「これが東区の食べ物だ」と言い続け、発信していくとそれが東区の文化となる。東区の歴史と文化の融合となる。
- 農業、食文化、桜・銘木、など一つにまとめたものがないので作ってあげればよいし、それらと菅生神社、萩原神社をはじめ神社仏閣は外せないし、鉄道や川水路、街道を連携させた成果物というものもある。
- 学校ともつながって小学生向けに何か成果物を作ってあげてもよいのではないかな。
- 住民と役所の信頼関係を築き、密接な連携のもと事業を進めていけばよいと思う。

- 「河内国野田城の歴史」冊子があるが、野田城址は地域の宝だと思う。
- 「行基」と東区の関係扱うのは、今までまとめたものがないと思うので面白いと思う。
- 区役所としてテーマや発信方法についてどうしたいのかを出してこの会議で議論を進めてはどうか。
- 学校側との調整は必要だが、子どもたちに興味を持ってもらえるようなテーマ、例えば「地名・町名の由来」を小学生が調べるとか。そうすることで「こんなまちにしたい」という思いが生まれればよいと思う。
- 聞き取りとか調べていけば、「出口、三軒家、かくれ、おわり坂」など今は住居表示から消えた地名とかが出てくるのではないか。地図を作るなら地図のいろいろな見方ができるので、そこに入れてもよい。標柱（石）や史蹟（跡）碑は入れるべき。
- 区役所から提案してもらって次回会議で議論を進めていけばよいのではないか。

4 閉会